

7月14日はフランスの革命記念日ですが、
日本ではその日を『パリ祭』と呼んでいます。

1933年、ルネ・クレール監督の映画「ル・カトルズ・ジュイエ／7月14日」が
日本で封切られることになった時、「7月14日」という邦題ではわかりにくい、
と輸入元の東宝東和映画が「巴里祭」と名づけた為です。

戦前もフランス映画のファンは多く、
シャンソンも宝塚歌劇団で歌われていました。
そして1963年、石井好子はシャンソンの祭典「パリ祭」を始めました。

年に一度、パリ祭は歌手達が一堂に集まって
シャンソンを歌うコンサートの日です。

当初、日比谷野外音楽堂で行い、2000席のところに5000人の聴衆が詰めかけ、
夏の大イベントとなりました。

その後、新宿厚生年金会館、日比谷公会堂、メルパルクホール、
ゆうぽうと簡易保険ホール、東京国際フォーラム、NHKホール
Bunkamura オーチャードホール、TOKYO DOME CITY HALLと
会場を変えて続けてきました。

※写真は1974年「パリ祭」フィナーレの様様です。